

学年だより（さくらぐみ）



《12月のねらい》大きな行事を通して力を合わせ、やり遂げる達成感を
味わい、友だち同士の結び付きを深める

《12月のうた》 赤鼻のトナカイ



《11月の様子》

赤や茶色に色づいた葉っぱが少しづつ散り始めたり、寒さを感じとったりと、秋から冬への変化を日々の園生活の中で気付いて言葉で表現してくれるようになった子どもたち。13日には雨で延期になっていたお芋掘りに「今日は雨降っていないね！」「バスに乗って行くんだよね？」と朝からわくわくした気持ちでいっぱいで行ってきました。手のひらで土の感触を楽しんだり、お芋を傷つけないようにとシャベルを丁寧に使って「ここに大きいのあるから一緒に掘ろう！」と力を合わせて掘ったり、「細長いのが掘れた！」と友だちと見せ合ったり夢中になっている姿がありました。クラスみんなでふかしたお芋を食べると「甘くて美味しいね！」「これは誰が掘ったお芋だろう」と芋掘りの思い出や味について笑顔で話してくれました。

発表会の練習ではカッコいい姿を見せようと張り切り、カスタネットや歌、メロディオンでさくら組全員の歌を合わせる楽しさを感じ、心をついに頑張っています。それぞれの踊りでは「もう一回踊りたい」「衣装を着て踊ってみたい」と期待いっぱいに取り組んでいます。当日は大きなステージの上で輝く子どもたちの姿を楽しみにして下さい。

★折り紙製作～みのむし～★

秋の虫の話をする「こおろぎ」「クツワムシ」と「むしのこえ」の歌で歌った虫の名前をたくさん答えていた子どもたち。そんな

秋の虫の中で「みのむし」を折る事にチャレンジしました。「木や葉っぱの服を着ているんだね」「木にぶら下がっているんだ」と新しい発見も楽しみながら、一生懸命に折り、3回折るとコップができるコップ折りに驚きながら、一回一回丁寧に折る姿も多く見られました。完成すると、思い思いのみのむしの顔や紅葉した葉を描き、秋らしい作品ができあがりました。

★七五三製作～にじみ絵★

マーカーと絵の具の筆を用意すると、「絵の具は使わないの?」と不思議そうに聞く姿が見られました。小さくて丸いコーヒーフILTERに、マーカーで模様を描き、濡らした筆を真ん中に置いてじっと待ち、色がにじんで広がっていくのを見ると、「すごい!」「魔法みたい!」と目を輝かせ、一人ひとりが好きな色で模様を描き、色が混ざっていくことを楽しんでいました。そして七五三の文字をマーカーで丁寧になぞり、袋に貼ると、カラフルな自分だけの作品が完成し、飴を入れてもらえたことに大喜びでした。

★美術～セロファンメガネ★

下段先生が作ったメガネを見ると、「かっこいい!」「作ってみたい!」と期待を膨らませて製作が始まりました。目の位置に合わせて紙皿を三角の形に切り、赤いセロファンを貼ると、周りにマーカーでカラフルな模様を描いて、色を付けたり、折り紙で角や動物の耳などを付け、思い思いのめがねが出来上がりました。めがねをかけて周りを見渡すと、全体が赤く見えることや、見えなくなる色があることの発見を楽しんでいました。

★そよ風文庫★

「やさいのおなか」「ゆめにここにこ」

「ぐるんぱのようちえん」